

「知」の集積による産学連携推進事業のうち バイオエコノミー推進人材活動支援事業の概要（令和5年度）その1

「知」の集積と活用を活用し、バイオエコノミーの推進に資するプロデューサー人材の 研究成果の社会実装に向けた活動を支援

取組1：関係者間の連携

農林水産・食品分野の研究成果を活用した商品化・事業化モデルの構築や
関係者間の連携強化に向けた検討



研究開発機関
地元企業・農林漁業者
自治体
ベンチャー
ネットワーク機関
など

取組2：農林水産・食品分野の研究成果を活用した商品化・事業化モデルの構築・検証

研究開発プラットフォーム等の研究成果について

- ・ **市場性等調査・分析**
実需者等を対象とした聞き取り等により、社会実装に向けた課題、ターゲットとする市場の特徴及び規模等について調査・分析
- ・ **ビジネスモデルの構築・検証**
商品化・事業化に関して専門的な知識を有する者からアドバイスを得ること等により、ビジネスモデルを構築・検証
- ・ **社会受容促進のための取組**
社会的理解が得られるよう、消費者等を対象とした講演会や意見交換会等を開催、また、解説資料や解説動画の作成等により情報発信



※事業終了後は、「知」の集積と活用を場のポスターセッションへの出展により事業成果を発表。

「知」の集積による産学連携推進事業のうち バイオエコノミー推進人材活動支援事業の概要（令和5年度）その2

事業の対象者

「知」の集積と活用を場の研究開発プラットフォームのプロデューサー又はプロデューサーの推薦を受けた者を**事業実施責任者（プロジェクトリーダー）**としたプロジェクトチーム

- プロジェクトチームのメンバーが、「知」の集積と活用を場の産学官連携協議会の会員であること
- 法人格を有する**代表機関**が選定されていること（経理事務を行う能力があること）

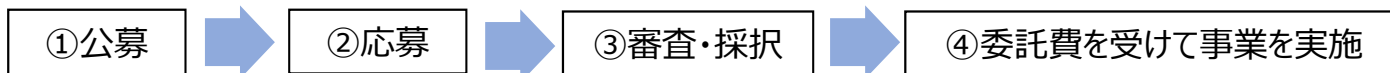
事業期間及び限度額

支援期間：令和5年度

限度額：8,000千円/件（予算16百万円の範囲内）

事業の流れ

（国（筑波産学連携支援センター）から民間団体等へ委託）



※「バイオ戦略」で示された「バイオコミュニティの形成」に関わる活動については、審査での加点を行う。

